

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 13

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪  
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
TEL. 06(6772)2320  
FAX. 06(6772)2327  
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会 長 佐 藤 三 千 秋  
会 長 ノ ミ ニ 一 百 濟 洋 一  
副 会 長 和 田 栗 一 良  
幹 事 大 畑 齊  
会 報 委 員 長 宮 崎 康 治

## MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

2008~2009年度 国際ロータリー会長 D. K. リー

第1702回例会 平成20年10月27日(月曜日) 第13号

### 本日の例会

10月27日(月)第3例会

◎ソング 「限りなき道ロータリー」

◎卓 話 「イタリア帰国報告」

ゲストスピーカー

ロータリー財団国際親善奨学生  
杉山 博昭様

◎本日の献立 松花堂弁当



[地引き網体験]

### 来週の例会

11月10日(月)第1例会

「東輪会合同例会」

横山守雄ガバナー公式訪問

11時30分 登録受付・食事

13時 開会

14時30分 閉会

シェラトン都ホテル大阪4階「浪速の間」

### 先週の例会記録

10月12日(日)第2例会

「秋の家族会」

和歌山県美浜町地引き網体験

(移動例会)

### 会 長 挨拶

会長 佐藤三千秋

本日は秋の家族会で、和歌山城ほりでの移動例会です。郷田会員、尾崎会員ご夫妻、瀧田会員ご夫妻始めご参加の皆様、朝早くからお疲れ様です。しかし、皆様の日頃の精進、行いの良さにより、秋晴れの晴天のもとでの地引き網の成果は期待に応える大漁で、心がわくわくと躍り、童心の頃の楽しい気持ちにかえられたようなので、お疲れもあまり感じてないようにみえました。

岩崎親睦委員長の楽しい企画と大変なご配慮により、楽しい家族会ができ、初めての経験をさせて頂いたことに感謝致します。本日は会員並びに日頃お世話になっておりますご家族ともども楽しい一日を過ごして親睦を深めたいと思います。



[例会風景]

## 幹事報告

幹事 大畑 齊

1. 本日、秋の家族会（移動例会）のため 10 月 20 日（月）は振替休会です。ご確認ください。

## 出席報告

大畑幹事

本日の会員数	44名
本日の出席者数	10名
本日の出席規定適用免除会員	15名
本日の出席率	32.26%
9月29日の修正出席率	86.84%

[ガバナー月信 10月号より]

## 「参加して楽しい地区大会」

### ロータリーは感動だ！

地区大会実行委員長 大阪中央RC

高橋 亜紀央様

RIは地区大会の目的を、朋友との交流・感銘深い講演・重要な問題の討議、と定めるとともに、更に親睦を深める祝賀行事であるとしています。

ご承知の通り、今年度の地区大会は12月12日（金）、及び13日（土）の二日間にわたり、大阪国際会議場並びにリーガロイヤルホテルにおいて開催されます。

12月12日の分科会では、会長・幹事部門では「CLP推奨3年目の現状と課題」をテーマに、GAによるパネル討論会を行います。各奉仕部門の分科会は、地区委員会の企画により実施いたしますが、「サイエンスカフェ」・「新世代フェスティバル」・「R財団の夢計画」と「Rの真髄を学ぼう」をテーマに、バズセッションやフェスティバルを楽しんでいただきます。

「家族の集い」では、ショパンコンクール入賞者の若手ピアニストと元タカラジェンヌの異色の

コラボレーションを企画していますが、どのような展開になるのか楽しみです。

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では、和太鼓によるウエルカム・パフォーマンスと日本的なおもてなしによる、和やかな雰囲気での会食を企画いたしました。13日の本会議は、地区大会の趣を醸し出す設営と、Simple・Smart・Speedyをモットーに、映像と音響を駆使した運営により、退屈することなく大会を進行してまいります。そして、メインゲストには国際的オペラ歌手の佐藤しのぶさんをお招きいたしました。佐藤しのぶさんは、世界の恵まれない子供たちへのボランティア活動をされておられますが、現場からのお話と、素晴らしい歌の数々を披露していただきます。参加して楽しい地区大会に、ご家族共々お越しくくださいますよう、お待ち申し上げます。

## 「10月 職業奉仕月間によせて」

地区職業奉仕委員会 豊中RC

委員長 畑田 耕一様

ロータリーの職業奉仕はロータリアン一人一人が例会に出席して他の会員との交流・親睦を通してモラルを高め、日常生活では自分の職業に真剣に取り組み、社員はもとより仕入先や顧客など周囲の人達のモラルを向上させて、業界の手本となり、その業界のモラルを向上させていくことです。クラブの会員一人一人がそれぞれの業界を受け持って、職業奉仕の活動を続けていけば、やがては社会全体のモラルが高まります。ロータリアンは、クラブに対しては自己の職業の代表者であり、ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通じてロータリー精神を普及する責務を負っているのです。

学校、特に小学校では授業での学習内容が子供の家庭で保護者や家族に伝えられ、さらに、地域社会にも影響を与える可能性が高いのです。ここ数年来、地区職業奉仕委員会が実践をお願いしている小・中学校への出前授業は、子供たちだけでなく、その家族や地域社会の人々にも何かを伝えることが可能です。また、子供たちはあまり遠くない将来に大人となって、市民の一人となります。ロータリアンが小学校、中学校への出前授業で自己の職業・専門について語ることは職業奉仕の一つの形と考えられます。